

論文審査及び最終試験結果報告書

平成22年度入学	地域社会研究科 地域社会専攻 地域政策研究講座		
学籍番号	10GR103	氏名	徐 小 淑
審査委員	主査	檜 楨 貢	
	副査	猪 瀬 武 則	
	副査	児 玉 忠	

(論文題目)

現代中国の社会系教科における経済教育に関する研究
— 社会主義市場経済下での経済認識と経済的価値観の統一的形成 —

(論文審査の要旨)

・2013年8月3日13時より弘前大学大学院地域社会研究科博士論文公開審査会(会場:総合教育棟)において、多くの研究科教員等の出席の下で徐小淑氏が上記論文題目を発表した。その要旨は以下の通り。

1. 主題について

本論文の主題は中国の学校教育における現代の経済教育の特質を明らかにすることであった。

2. 論文構成と分量について

論文は序章と終章を含めて、8章で構成されている。序章は研究の主題、方法、論文構成を明らかにした後、中国とわが国における先行研究をレビューするとともに当研究の意義を述べている。

第1章は中国の清朝末期から今日まで110年にわたっての経済教育の歴史的分析を行い、第2章では現代中国の経済教育を小学校・中学校・高等学校の「公民教育」の全体像を明らかにした。次いで第3章、第4章、第5章において、小・中・高の経済教育の特質を整理・分析している。さらに、第6章において、小・中・高にわたる「総合実践活動」を通じた経済教育の動向をまとめている。終章では、1章から6章までを総括し、中国経済教育における今後の課題を提示している。

この論文は、本文、図、表、引用、文献等が適切であり、首尾一貫した論理構成になっており、表紙と目次を含めないでA4判322頁(1頁1400字)の分量である。

3. 公開審査会での論議について

公開審査会では、①中国経済の実態と経済教育との関連性、②科学技術教育の実情、③日本の経済教育との相違等を中心に活発な質疑があった。

4. 成果と残された課題について

この論文の成果はわが国の経済教育の現段階を踏まえつつ、改革開放以降の中国独自の社会主義市場経済体制を教育面から下支えしている動向を明らかにした点である。また、残された課題としては、今後とも広大で多様な中国社会の中での経済教育の実態をおさえる研究を進めることであった。

(最終試験結果の要旨)

最終試験は次のような評価であった。

- ① 教科書、課程標準等を活用した中国大陸政府による初等中等教育における経済教育の整理分析はオリジナリティがある。
- ② 形成されつつある社会主義市場経済下での経済認識と経済的価値観を統一的につくり上げることが課題であることを明らかにするなど、この分野での理論的貢献が顕著である。
- ③ 資料等は可能な限り整理、再構成され、参考資料等の扱いに関して細心の注意が払われている。

以上のことにより、本論文は学位論文として適切なものとして認める。